

乳がんの病理診断

～チーム医療における役割と展望～

乳がんの診療において、病理部門はその確定診断を担っています。また、悪性度などがんの性質評価、手術時には広がり診断（切除断端やリンパ節転移の判定）を行っており、さらには術後補助療法の薬剤選択や治療効果判定などにも関わっています。日頃は患者さんに接する機会のない私たちが、現場で何を考え、どのように診断をしているかを含め、乳腺病理に関する現状をご紹介しますとともに、将来展望についても触れたいと思います。

川崎医科大学病理学 教授

講師 森谷 卓也 先生

(もりや たくや)

1984年3月 川崎医科大学卒業
1984年5月 川崎医科大学附属病院研修医 (ローテート研修)
1986年4月 川崎医科大学大学院(病理学)
1989年7月 米国ジョージワシントン大学(病理学)(1年間)
1998年7月 東北大学病院
病理部副部長・助教授(准教授)
2007年8月 川崎医科大学
病理学教授・附属病院病理部部長
現代医学教育博物館(メディカル・ミュージアム)副館長
2012年4月 学校法人川崎学園 理事
2013年4月 川崎医科大学 学長補佐



日時：2019年2月26日(火)18時～19時
場所：福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室

司会：大竹 徹 先生 (乳腺外科学講座)

参加無料／事前登録不要

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
 - ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
 - ◆ 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。履修票を忘れずにお持ち下さい。
- 【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL:024-547-1095 E-MAIL: ganpro@fmu.ac.jp
【次回予定】 2019年3月12日(火) 18時～19時 / 福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室